

改善箇所説明図



不具合の内容

燃料噴射装置において、燃料噴射ノズルの検査工程の判定値の設定が不適切なため、検査基準値を外れて製造されたものがある。そのため、エンジンを長期間停止すると、少量の漏れた燃料が燃焼室内に滞留し、エンジン始動直後からしばらくの間、排出ガスの濃度が悪化して、最悪の場合、排出ガス基準値を超えるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、燃料噴射ノズルを対策品に交換する。

識別：キャンペーンステッカーに「24F0、日付（西暦・月・日の順）ワークショップスタンプ」を記入し、スペアタイヤ収納部左側面に貼りつける。

